

児童の発想を公園づくりに！



上：応募頂いた児童の皆様に参加賞を進呈しました
中：校長先生と第4地区協議会委員
下：選定した児童作品を仮囲いに展示しました

第4地区協議会は、平成27年度完成予定である上池袋四丁目国立印刷局跡地の公園づくりについて、積極的に取り組んでいます。

今年度は、子どもたちにも公園に愛着を持って利用してもらうことを目的として、池一小から【将来あったら良いな】と思う遊具を募集し、計194作品が集まりました。

児童作品は、1月19日の「第1回みんなで公園検討会」において紹介し、子どもたちの発想を公園づくりに取り入れてもらうよう要望しました。

- ①すべり台など、池一小に無い遊具を設置する
- ②児童作品から、カラフルな色使いや動物の形などの要素を、一部でも良いので遊具に取り入れる
- ③愛着を持って大切に使うってもらうために、遊具が決まったら、使い方を児童に考えてもらう

また、特に優秀な作品を2月20日から3月末まで、公園整備予定地である国立印刷局跡地の仮囲いに展示していますので、ぜひご覧ください。

「みんなで公園検討会」では多くの協議会委員も参加し、公園のシンボルや名称、全体プラン、管理についてなどが話し合われました。(詳細は3月下旬発行の「まちづくりニュース公園特集号No.3」に記載予定とのことです)

本公園は、災害時に池一小との連携拠点としても重要な役割を担っています。協議会では、今後も池一小と連携しながら、公園の活用方法等の検討に取り組んでいきます。

ご連絡お待ちしております！

まちづくり協議会ではご参加いただける方を募集しています。詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

〒170-8422 東京都豊島区東池袋2-60-3 グレイスロータリービル7階

豊島区都市整備部 地域まちづくり課 東部まちづくりグループ TEL 3981-1464

上池袋地区

まちづくり～生活環境の向上をめざす～ニュース

No.54

私たちのまちの地域危険度

(平成23年度東京都土地利用現況調査)

東京都は、約5年ごとに町丁目別の地域危険度測定調査を実施しています。都下5,133丁目を相対的に5段階評価したもので、昨年、右の通り発表されました。

上池袋地区は、今回、新たに加わった評価項目である「災害時の活動困難度を考慮した地域危険度」が、「総合危険度」より高い数値となりました。

危険度が高い理由

狭あい道路や行き止まり路が多い等、道路基盤の未整備等

ア 総合危険度ランク（地震の揺れによる建物の倒壊や火災の危険性等総合的な危険度）

イ 災害時の活動困難度を考慮した総合危険度ランク（アに合わせて、道路幅員や道路基盤の整備状況を反映）

四丁目：ア3 1143位

イ3 858位

三丁目：ア3 482位

イ4 218位

二丁目：ア2 1374位

イ3 685位

上池袋地区危険度ランク
と、ワースト順位

一丁目：ア3 1127位

イ3 787位

危険性が低い

ランク1

2318町丁目
(45.2%)

ランク2

1634町丁目
(31.8%)

ランク3

813町丁目
(15.8%)

ランク4

284町丁目
(5.6%)

ランク5

84町丁目
(1.6%)

危険性が高い

狭あい道路の拡幅が重要です

建替えやリフォームをお考えの皆様へ まちづくり協議会からのお願い

災害時に安全な避難をするためには、狭あい道路の拡幅が重要です。そこで、

1. 建替えや、全ての外壁の撤去または全ての柱の補強を行うような大規模リフォームの場合は、道路のセットバック（道路中心線から2mの位置まで後退）が必要です。
2. 接道していない敷地での建替えは、共同建替えなどの制度があるので、活用を検討してください。
3. 来年度実施予定の「不燃化特区制度」による戸建て建替え助成等を活かして、燃えにくい建物への建替えを検討してください。

（制度の活用についての相談は、裏面事務局までお問い合わせください）

もし、首都
直下地震が
起きたら...



不燃化特区を活かしたまちづくりについて、検討しています。

豊島区は、不燃化特区の取組みに向けて「まちづくり懇談会」を開催しており、上池袋地区でも2月27日に実施されました。懇談会では、まちの課題や将来像についての説明がありました。

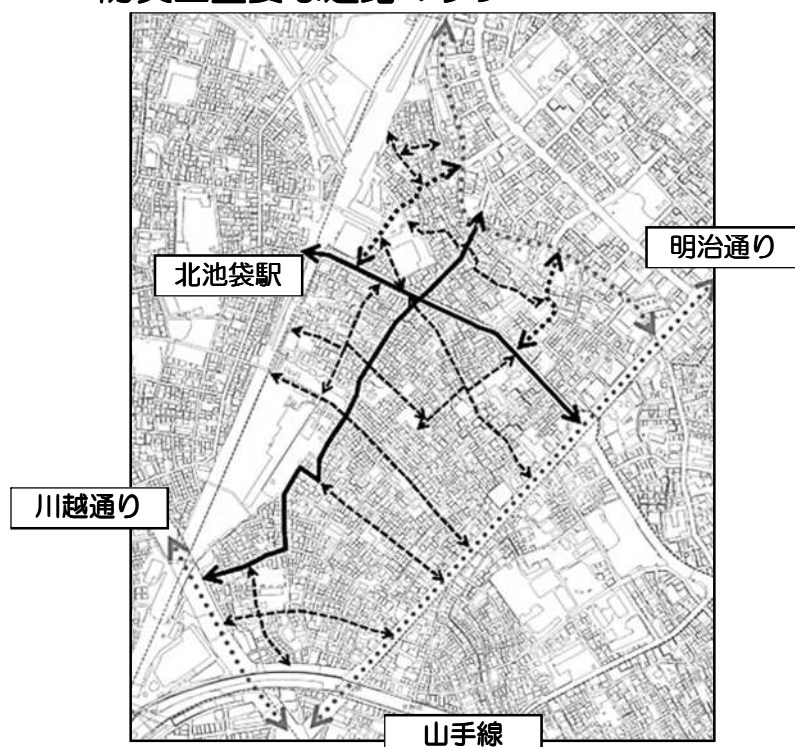
上池袋第2・3・4地区協議会では、区が説明する内容について検討しながら、今後、協議会としてまちづくりの要望を区へ提案できるように活動を行っています。

まず、区の上位計画や火災時のまちの2方向避難などを考慮しながら、右図の「防災上重要な道路」を定めました。この沿道で建替えを行うことにより、狭あい道路が拡幅され、安全な避難ができるようになります。そこで、特にこの沿道権利者に対して、不燃化特区制度による助成や支援の活用を、積極的に周知するように区に提案する予定です。

次に、補助82号線沿道のまちづくりについて、防災や景観、歩行者・自転車の安全なみちづくり等の視点から、どのような街並みがのぞましいか、検討を進めています。

今後も、不燃化特区を活かして、より良いまちづくりが進むように活動していきます。

防災上重要な道路マップ



■「不燃化特区」とは

首都直下地震で甚大な被害が想定される、道路が狭くて木造老朽家屋が密集した地域を対象に、不燃化のための特別の支援を行い、燃えないまちにするというものです。



空き家調査結果をまとめました。

第1地区協議会では、今年度、「空き家」をテーマに活動を進めています。

上池袋昭和町会の防犯パトロールに同行して「空き家と思われる建物」を回り、その補足調査した結果、以下のことが分かりました。

- 緊急の対応が必要と思われる、危険な「空き家と思われる建物」はない。
- 老朽木造家屋が多く、耐震性に不安がある。
- 全ての「空き家と思われる建物」が、狭あい道路に面しているため建替えると居住面積が狭くなる、未接道であるため建替えができない、などの課題がある。
- 半数は、郵便受けが溜まっていない等、定期的な使用または管理下であることが推定される。

今年2月、豊島区は右の通り、空き家の利活用方法として、「としま居住支援バンク」を設置しました。

第1地区協議会では、今後、上記制度の活用など、どのような対応策があるか検討を進めていきたいと考えています。皆様からの空き家情報をお待ちしております。

トピック

「としま居住支援バンク」ができました

区内の空き家・空き室の有効活用や、それらを活かした住宅の確保にお困りの方の居住支援の推進を目指して「としま居住支援バンク」が設立されました。

豊島区内の空き家・空き室を登録し、住まいの確保にお困りの方への紹介を行い、両者のマッチングを図るものです。

※対象となる物件は、建築基準法、消防法等の法令に適合している物件ですが、適合しないと判断された物件については、「利活用準備物件」として登録し、活用にあたって改修等をお願いすることがあります。

窓口・問合せ先：豊島区居住支援協議会
TEL & FAX 03-5951-1508
<http://www./kyoju-shien-toshima.com>

まちの紹介コーナー

今年度、上池袋一丁目では、巣鴨学園の改修に合わせ、学園北側・西側の擁壁や塀の移設と、道路がセットバックされ通りやすくなりました。現在は、南側もセットバックする工事を行っています。

また、一丁目の上池袋中央公園が拡張し、さくら広場とも一体となる工事が、3月に竣工します。新たにかまどベンチやマンホールトイレといった防災施設も設置されます。

まちの色々なところが少しずつ変化しています。春になったら、少し足を延ばして街歩きを楽しんでみませんか。



●巣鴨学園に接する道路（敷地北側）



●巣鴨学園に接する道路（敷地西側）



●中央公園改修工事の様子